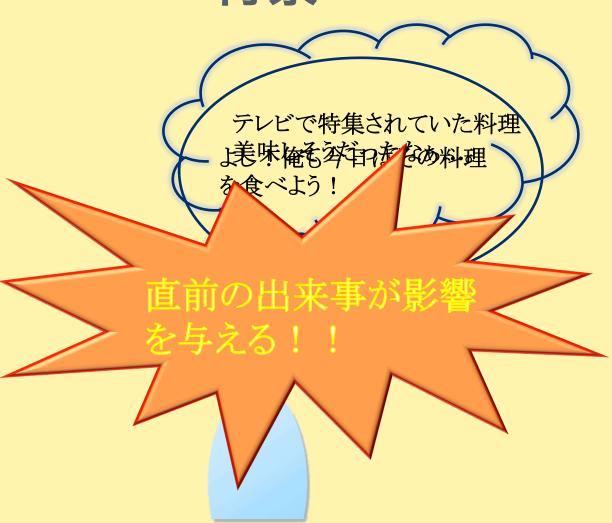
闘下感情的プライミング効果に おける感情語の色の関係

伊丸岡研究室 4IP1-60 前浜 優哉





森・坂元(1997)の研究

敵意性のある刺激に接触

通常より敵意的に判断!

対人的な評価

コンストラクト・アクセサビリティ効果

閾下感情的プライミング効果

Murphy & Zajonc(1993)の閾下感情的プライミング効果

・ 先行して感情価を持った刺激を提示すると感情的に曖昧な刺激に対し、 先行刺激の感情価と同じ方向の感情が生起。

閾下感情的プライミング効果

- ・小川・鈴木(1998)の先行研究
- 3種類の表情(怒り、笑顔、真顔)

閾下提示・閾上提示し、善悪評価した結果

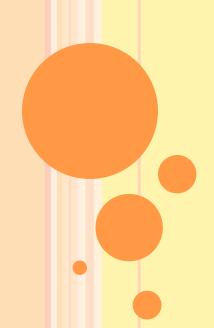
→有意な閾下プライムの効果は見いだせなかった。

目的

Zajonc(1998)は感情と認知は独立したシステムであるため、必ずしも感情生起するにあたり認知過程は必要がない。

- ・小川・鈴木(1998)の手続きを参考
- →プライム刺激を単語に変えることで閾下感情的プライミング効果が見られるかどうかを調べることとした。

実験



目的

プライム刺激

3種類の顔の表情→色を付けた感情語

・感情語を用いて閾下感情的プライミング効果を引き起こすことができるのか。

方法

被験者 金沢工業大学の43名(18歳~22歳) 結果に使用した被験者は40名。

刺激 プライム刺激…感情語24種類。 ターゲット刺激…タイ文字単語8種類。

手続き-プライミング試行

悪質

効果の影響で善だと5に近く 悪だと1に近くなる?

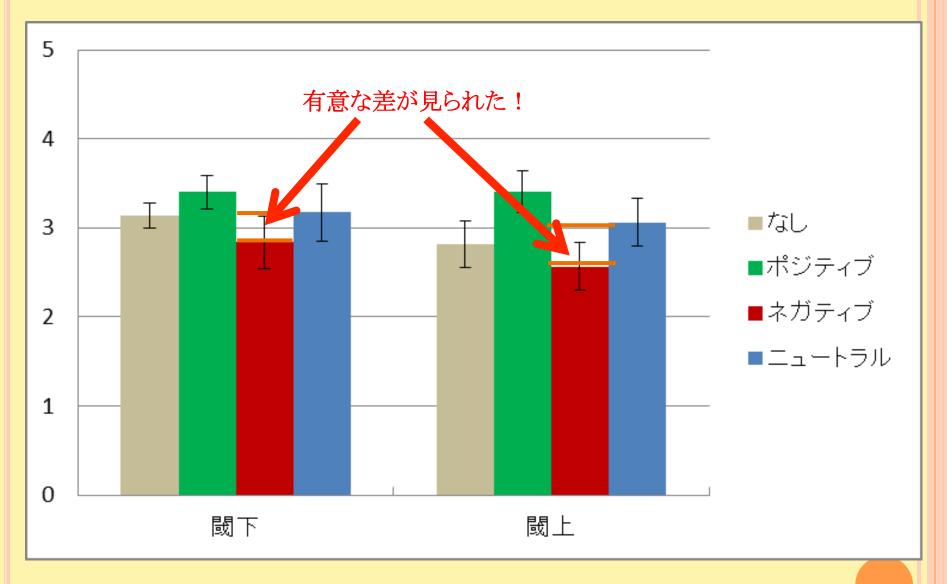
友好

ชาบซึ้งใจ

点検

時間

プライム刺激の各条件の善悪評価の平均値と標準偏差のグラフ



感情価の有意な主効果がみられた (F(3,152)=5.39,p<.005)。

考察

閾下感情的プライミング効果

→本実験から示された。

閾下条件・閾上条件との違い

→ 閾上では意識的に認知 閾下では見えていないが感情に影響

引用文献

Murphy, S. T., & Zajonc, R. B. (1993). Affect, cognition, and awareness: Affective priming with optimal and suboptimal stimulus exposures. Journal of Personality and Social Psychology, 64, 723-739.

森津太子・坂元章(1997). 特性関連語の閾下・閾上呈示が対 人知覚に及ぼす効果 心理学研究,371-378.

小川時洋・鈴木直人(1998). 閾下感情的プライミングの検討感情心理学研究,70-77.

Zajonc, R. B. (1980). Feeling and thinking:Preferences need no inferences. AmericanPsychologist, 35, 151-175.